

**学校法人 福原学園
平成27年度事業計画**

平成27年3月

目 次

I. はじめに

II. 事業の概要

1. 九州共立大学	1
(1) 教育活動の充実	
(2) 学生支援の充実	
(3) 大学運営の強化	
(4) 重点取組業務	
2. 九州女子大学・九州女子短期大学	4
(1) 教育活動の充実	
(2) 学生支援の充実	
(3) 大学運営の強化	
3. 自由ヶ丘高等学校	7
(1) 教師の資質向上および組織的教育力の充実	
(2) 部活動の充実	
(3) 募集活動および地域社会との連携強化	
4. 九州女子大学附属幼稚園	9
(1) 折尾幼稚園	
(2) 自由ヶ丘幼稚園	
(3) 鞍手幼稚園	
5. 管理運営	12
(1) 組織改革	
(2) 人員体制	
(3) 制度改革	
(4) 省エネおよび節電対策の推進	
(5) IRデータによる改善・改革の支援	
(6) 教育研究環境の整備	

I. はじめに

福原学園は、建学の精神である「自律処行」の理念に基づき、平成20年度に策定した「福原学園設置大学中期計画(6ヶ年)」、および平成22年度に策定した「中期財政計画(4ヶ年)」で積み残した課題を精査し、新たな改革・施策に着手するため平成26年度より「福原学園第2次中期計画(5ヶ年)」、および「福原学園第2次中期財政計画(5ヶ年)」を策定し、初年度実施項目を点検のうえ、両計画を履行するものである。

II. 事業の概要

1. 九州共立大学

九州共立大学は、「社会に適応できる自立した職業人を養成する大学を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動し、知識基盤社会で活躍し得る教養と課題追求能力・総合的判断能力・問題処理能力を併せ持つ真摯な学生を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教育活動の充実、(2)学生支援の充実、(3)大学運営の強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1)教育活動の充実

職業人養成教育大学として、資格・免許取得を学修成果とし、学生の質に応じた教育活動を展開するとともに、教育活動に基づく研究を展開する。

1)特色ある教育課程の編成

①経済学部ICTバリアフリー化パイロット事業の展開

ICT(情報通信技術)を活用した情報教育を推進するため、小規模無線LAN環境のパイロット導入や、情報系科目以外の少人数授業でICTを活用した授業を展開するとともに、学生の日常的なICT利用を促し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]: 自分自身のICTスキルアップを実感する学生数の全学生数に対する比率 10%

②アドベンチャー教育プログラムの導入検討

学生の仲間作りを促進するため、前年度実施した他大学や体験施設等の調査結果を踏まえ、新たに「アドベンチャー教育プログラム実施検討ワーキンググループ」を立ち上げ、本学独自のアドベンチャー教育プログラム計画を策定し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]: プログラム実施後のアンケートによる学生満足度 75%

③経済学部の教育課程改革の実施

定員確保と退学者防止のため、平成27年4月から新たな教育課程として、6領域からなる科目群へと再編し、学生の希望に応じた資格取得を重視した運用を行う。その教育課程改革の運用実態を十分に検証していくとともに更なる改善を図り、学生の満足度を高める。

④スポーツ学部の教育課程改革の実施

学生の進路に対応した教育課程の再編を検討するため、平成28年4月開設に向け、教育課程の検討を行う。また、在学中に小学校教員一種免許状を取得できる「小学校教員養成プログラム」の導入に向けた具体的検討を行う。

⑤共同実施制度による大学院研究科の設置

今後の教育職員免許法改正を見据え、教員養成6年制に対応するため、大学院担当可能教員の教育研究業績の検証、大学院設置基準を踏まえた教育課程等の検討、社会ニーズ調査等を行い、大学院研究科構想案について継続して検討する。

2) 学修成果を重視した教育課程の強化

①組織的・体系的な教育課程の質的転換への取組み

教員の授業改善、資質向上を図るため、全学的なFD活動を実施するとともに、「FDハンドブック」の継続発刊を行う。また、小グループ単位での自主的なFD活動の検討、DP・CP見直し、各授業科目の到達目標設定、シラバス（授業計画）の点検・見直し等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：授業評価アンケート評価4.0以上キープ 4.0点以上
ハンドブックの継続発行(年1回) 1回

②教育力向上成果について全学的な検証評価体制の確立

全学的な検証評価体制の確立のため、教育課程における諸活動についての点検・評価、点検評価結果に基づく改革・改善方法の検討・指示、教育業績の評価の仕組み作りの検討、ならびにPDCAサイクルの循環状況の検証を実施する。

3) 免許・資格取得支援の強化

①公務員試験対策の充実(経済学部)

公務員希望者への支援を行うため、試験対策計画の立案、勉強会、模擬試験、ならびに個別面談等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公務員試験の合格者数 8人

②公務員試験対策の充実(スポーツ学部)

公務員希望者への支援を行うため、勉強会、指導講話、視察研修、ならびに合宿研修等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公務員試験の合格者数 30人

③アスレティックトレーナー(AT)の資格対策の充実

一人でも多くのAT現役合格者を輩出するため、実技・筆記対策講座、ならびにプロ・実業団チームトレーナー、チームドクターとの交流等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学生参加者数 20人 現役合格者数 1人

④健康運動指導者の試験対策の充実

現場実習を充実させ、質の高い学生を輩出するため、eラーニングテストを継続して実施するとともに、学生の将来設計(運動指導・運動処方)に応じた実習施設への斡旋等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：資格試験(健康運動指導士)合格率 60%

⑤保健体育科教員の試験対策の充実

指導力と質の高さを合わせ持った保健体育科教員育成のため、試験対策計画の立案、試験対策、教員養成セミナー、ならびに研究会等への参加・情報収集等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：合格者数 6人 学生参加者数 200人

(2) 学生支援の充実

教職員と学生とのコミュニケーションの活性化を図るとともに学生支援体制を充実し、学生の満足度を向上させる。また、海外協定校との国際交流を促進する。

1) 学生支援の強化

①大学祭の活性化および地域への社会貢献の推進

大学祭の活性化および地域との連携を図るため、大学祭において、地域参加型のイベントおよび大学の特色・強みを生かしたイベントを実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：模擬店の出店数 35数

②新入生の交流促進（友だち作り）

新入生の仲間作りのため、新入生宿泊研修、県人会、新規サークル活動、大学行事への参加を通じて、新入生の交流促進を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：県人会設立数 4件

③文化系サークル団体設立の推進

文化系サークルの増加とサークル加入率を高めるため、計画の立案、サークル活動環境の整備等について学友会との調整を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：設立サークル数 3件

2) 就業力育成支援の強化

①卒業後の進路先と連携した課題解決型インターンシップの実施

採択補助金を活用した教育改革を進めるため、実行部会の開催、事前研修、課題解決型インターンシップの実施、ならびに事後研修等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：課題解決型インターンシップ参加者数 7人

②就職支援対策の充実

就職支援体制強化を図るため、面接指導の強化、学内個別会社説明会、ならびにOB・OG・内定学生との座談会等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：面接指導学生参加者数 230人 学内個別会社説明会学生参加者数 100人
サポート利用者数 84人

3) 国際交流支援の強化

①海外協定校からの短期留学生の受入促進と海外留学の推進

本学学生に海外志向を持たせ、短期海外留学希望生を増やし、企業が求める国際的能力のある学生の養成を図るため、欧米・オセアニア・アジアからの留学生を積極的に受入れる方策を実施するとともに短期派遣留学の充実を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：短期留学生受入人数 9人 短期留学生派遣人数 4人

(3) 大学運営の強化

教育研究部門と管理運営部門との協働体制を確立し、効果的な組織運営を行い、組織の活性化を図る。また、大学の特色を伝える戦略的な募集活動を展開する。

1) 大学運営組織体制の強化

①IR推進タスクフォースの活動を中心とした改革諸事業への支援

平成28年度に大学認証評価を受審するため、基礎データの収集を行い、平成26年度自己点検評価報告書を精査し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：データ分析結果の報告件数 5件

2) 教職員相互信頼の強化

①委員会組織の改編ならびに事務組織における所掌事務の見直し

教職協働体制の更なる強化を図るため、事務組織の見直し、教学の管理運営体制の再編に係る検証、ならびに各課所掌事務の見直し等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：主要委員会の統合数(スリム化数) 1件

3) 戦略的募集広報の強化

①入試制度の点検と見直し

面接試験の共通化および効率化を図るため、平成27年度入試区分毎の正解率の分析と検証を行い、次年度の問題作成における参考データを提供する。また、面接問題における両学部面接時間の統一を行うため、文言の整備を検討する。

②本学の強みに主眼をおいた高校向け広報を強化

本学の認知度および評価を高め、志願者増に繋げるため、出前授業、オープンキャンパス、ならびに大学見学等の積極的アピールを実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：出前講義の数 25件

(4)重点取組業務

①九州共立大学創立50周年に係る各種記念事業の準備および実施

本年度創立50周年を迎えるため、記念式典・祝賀会、記念誌の編纂および発刊、記念DVD制作および上映、寄付によるキャンパス整備事業、冠事業を実施する。

②地域連携推進室の設置による地域社会との連携活動の推進

地域社会との連携活動に関する学内情報の一元管理と学内外に対する周知・PR、ならびに地域連携を目的とした新たなプロジェクトを展開するために、本学に「地域連携推進室」を設置し、これら諸活動を強力に推進する。

2. 九州女子大学・九州女子短期大学

九州女子大学・九州女子短期大学は、「地域に根差した実践教育を展開する大学を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動し、社会の期待に応えられる基礎的・汎用的能力を併せ持つ、強くてしなやかな女性を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教育活動の充実、(2)学生支援の充実、(3)大学運営の強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1)教育活動の充実

学生への丁寧な教育と質の高い教育活動を行い、地域社会の核となる実践教育を展開するとともに、教育活動に基づく研究を展開する。

1)地域社会との連携の強化

①地域社会のニーズに応じた「知」の提供

地域社会との連携強化を図るため、「学生の質保証の強化」、「大学の研究機能の活用」、「地域社会との共生」の3つの柱を掲げ、北九州市との「放課後児童クラブ」の振興に関する連携事業の実施に向けた具体的検討を行う。

2)教育活動の質の転換および質保証の強化

①教育課程の体系化が俯瞰できるカリキュラムツリー等の作成および公表

教育課程体系の可視化、授業計画への利活用および教育情報の公表を実施するため、大学全体、学科・専攻単位の学位授与方針の見直しを図り、各授業科目の領域別到達目標の設定、カリキュラムマップの作成、科目ナンバリング、ならびにカリキュラムツリーを作成し、授業計画へ反映させる。

②学修成果の測定・評価における評価方法・指標の検討および適用

学生の学修成果を把握するため、アセスメントテストの実施・課題点の把握・整理、授業科目における汎用的能力を評価するためのルーブリック活用の検討、学修ポートフォリオ導入のための実態調査を実施する。

③教員間の連携と協力による授業等の組織的教育の実施

教育の質的転換に教員が主体的に参画するため、総合共通科目「日本語表現法Ⅱ」を担当する複数教員で授業方法、授業内容、成績評価方法などの調査・研究や、共通テキスト等の教材開発を行う。

[成果指標]：該当科目の授業フィードバックアンケートにおける授業・教材満足度 85%

④家政学部の教育組織改革の実施

学生への指導体制等を充実させるため、学修成果を念頭においた教育課程等の検証を行うとともに、学部学科構成を検証し、改組の方向性を検討する。

⑤人間科学部の教育課程改革の実施

平成28年度以降における学部・学科改組を視野に入れた教育課程を再編成するため、本年度より運用を開始した新教育課程の検証を行い、課題点を整理する。

⑥共同実施制度による大学院研究科の設置

今後の教育職員免許法改正を見据え、教員養成6年制に対応するため、大学院担当可能教員の教育研究業績の検証、大学院設置基準を踏まえた教育課程等の検討、社会ニーズ調査等を行い、大学院研究科構想案について継続して検討する。

3) 免許・資格取得支援の強化

①教員採用試験・一般企業採用総合対策(人間生活学科)

公立学校教員採用試験合格者を輩出するため、外部機関が実施する委託講座(1次・2次試験対策)を実施するとともに、本年度よりインテリアコーディネーターの合格者輩出に取り組む。公立学校教員採用に関しては、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立中・高(家庭)教員採用一次試験合格者数 1人

②管理栄養士国家試験総合対策(栄養学科)

国家試験対策に係る体制整備のため、国家試験対策を1年次から段階的に実施する。また、3年次後期に「栄養士実力認定試験」を受験する効果を継続して検証し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：管理栄養士国家試験受験率 100%
管理栄養士国家試験合格率 90%

③教員採用試験・保育者採用総合対策(人間発達学専攻)

教員採用試験合格者の増加のため、外部機関が実施する委託講座、ならびに教員採用模擬試験の受験を実施するとともに、教員採用試験受験旅費の補助、教員採用試験関係書籍の整備を行う。また、幼稚園・保育園採用試験対策について、セミナー、模擬試験、ならびに個別面談等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立小学校・特別支援学校教員採用試験合格者数 34人
国公立幼稚園・保育園採用試験合格者数 7人

④教員採用試験・一般企業採用総合対策(人間基礎学専攻)

教員採用試験および一般企業採用対策のため、試験対策計画の立案、教員採用対策講座・ITパスポート対策講座、模擬試験、ならびに模擬試験事後指導等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立中・高(国語)および高(書道・情報)教員採用試験合格者数 1人
国家試験(ITパスポート)合格率 40%

⑤教員採用試験総合対策(子ども健康学科)

教員採用試験合格者の増加のため、外部機関が実施する委託講座、教員採用一次試験対策、教員採用二次試験対策、模擬試験、ならびに試験後の事後指導等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立幼稚園・養護教員採用一次試験合格者数 4人
公立幼稚園・養護教員採用二次試験合格者数 2人

⑥教員採用試験総合対策(専攻科)

教員採用試験合格者の増加のため、外部機関が実施する委託講座、教員採用一次試験対策、教員採用二次試験対策、模擬試験、ならびに試験後の事後指導等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立養護教員採用一次試験合格者数 10人
公立養護教員採用二次試験合格者数 2人

(2)学生支援の充実

社会で通用する汎用的能力の強化を図るとともに多様化したニーズに対しての学生サービスを提供し、学生の満足度を向上させる。また、海外協定校との国際交流を促進する。

1)学生サービスの強化

①学生サポートを組織的に行うための学生カルテシステム(仮称)の導入

学生自身による学生生活の「振り返り」を重視した組織的な学生支援を行うため、学生カルテ導入大学の視察、学生カルテシステム導入に向け、複数の学生カルテシステムの検証を実施する。

②就職に必要とする汎用的能力育成のための支援

学生個人への就職支援、キャリア形成支援事業を推進するため、学生なでしこ会議を継続実施し、学生ジョブコーチの育成を中心とした研修・課題解決型ワークショップ等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学生ジョブコーチ登録者数 30人

③図書館による各種学習支援講座の充実

高等教育の質的向上に資するため、初年次教育・図書館情報リテラシー教育、レファレンス・サービス(個別学習相談)の分析、ならびに図書館活用教育に加え図書館設備を充実させるための補助金申請を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：年間開講講座数 94回 学生1人当たり年間受講率 140%

2)国際交流システムの構築

①国際交流の促進による留学生支援の強化および相互交流の拡大

国際化事業の推進のため、留学生生活アンケート調査、学生間自主交流活動の実施、ならびに留学生に対する学内寮の斡旋を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：留学生生活アンケートによる留学生満足度 65%

(3)大学運営の強化

教育研究部門と管理運営部門との協働体制を確立し、効果的な組織運営を行い、組織の活性化を図る。また、大学の特色を伝える戦略的な募集活動を展開する。

1)大学運営組織体制の強化

①学修成果測定のための全学的な各種アンケート調査などIR機能の整備

IR機能を整備し教育活動のPDCAの好循環を図るため、大学ポートレートへの対応、学修に関するアンケート調査の把握、ならびに次期短大認証評価受審に向けた各種データの収集等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：各種データの分析結果に基づく問題・課題点の抽出および報告件数 2件

②各種委員会の機能強化と整備

学長のリーダーシップのもとに、時代の変化に対応した自己改革を自主的・自律的に改善できるようにするため、学校教育法をはじめとする法令に則り、運営体制の整備を行う。

③改革を支える事務職員の能力向上への支援

本学独自のSD（スタッフ・ディベロップメント）により事務職員の能力開発・向上を図り、教職協働の実践に資するため、学内研修会、学外研修会への参加、ならびに研修報告の共有化等を実施する。

2) 戦略的入試・募集広報の強化

①ステークホルダー向けの模擬授業・公開講座等の実施

安定的な定員充足のための地盤作りのため、高校生や保護者、高校教員を対象に、模擬授業・公開講座等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：模擬授業等の参加者数 50人 模擬授業等の参加者満足度 70%

②現連携校との新たな連携方法の構築および連携校の拡大

安定的な定員充足を維持するため、連携希望および連携方法等のニーズ調査、調査結果に基づく基本計画の作成、ならびに新規連携高校との各種連携等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：連携校からの入学者数 25人

3. 自由ヶ丘高等学校

自由ヶ丘高等学校は、「すべての生徒一人ひとりのために教育を行う高校を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、「人間開発」、「学力開発」を基軸とし、知(確かな学力)・徳(豊かな人間性)・体(健康と体力)の調和のとれた豊かな人間性を養い、社会を生き抜くことのできる人材を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教師の資質向上および組織的教育力の充実、(2)部活動の充実、(3)募集活動および地域社会との連携強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1)教師の資質向上および組織的教育力の充実

自己評価、校内研修等を通して、教師としての実践的指導力、その基盤となる豊かな教養および専門的知識の向上を図る。また、生徒の夢を実現させるべく、希望進路に応じた組織的教育活動を展開する。

1) 効果的・組織的な教育活動の推進

①生徒の学力・進路等に対応した具体的・計画的な運営および実施

生徒の学力や希望進路に沿った授業を展開し、質の高い授業を実施するため、教科ごとのシラバス(授業計画)を作成し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：コース・クラス別シラバス(学習指導計画)の作成 2学年分

②実践的指導力の充実

校内外の研修会を通して、自己研鑽を積み、卓越した指導力のある教員集団を作り上げ、授業満足度を高めるため、計画的な研修会を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：授業満足度アンケートの評価ポイントの上昇 17.1ポイント

③授業時間の適切な配分(確保)

授業と教育効果のある行事を精選して、「知育」「徳育」「体育」のバランスのとれた教育活動を推進するため、授業実施計画の作成、ならびに点検・評価を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：各コース・クラスごとに作成した年間授業実施計画の100%実施 100%

2) 教科指導の充実

①教科別授業研究の実施

生徒の実態に即し、コース・クラスに応じた適切な教科指導を行うとともに、教員が自己研鑽を積み、資質向上を図るため、年間を通した授業計画を策定し、各教科・科目ごとの授業研究を実施する。

3) 受験対策指導の強化

①小論文・面接・討論など多様な入試に対応できる生徒の育成

国公立大学推薦入試の進路実績の向上を図るため、大学推薦入試対策に係る計画の立案、総合学習を利用したキャリア教育、ならびにボランティア活動とインターンシップへの参加推進等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：国公立大学推薦入試合格者数 20人

②校外模試成績分析と情報共有による受験指導の強化

国公立大学一般入試の進路実績の向上および難関国立大学合格者の増加を図るため、校外模擬試験、ならびに模擬試験分析会等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：国公立大学一般入試合格者数 80人

(2) 部活動の充実

主体的に行動できるリーダーを育成し、文武両道の活力に満ちた学校づくりを行うため、部活動の活性化を図る。

1) 部活動の活性化

①部活動加入率の向上

文武両道の活力に満ちた学校づくりを推進するため、部活動紹介、部活動体験入部、部活動生徒集会、ならびに部活動加入調査を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：部活動加入率 68%

(3) 募集活動および地域社会との連携強化

志願者および入学者の増加を図るため、高校の特色を伝える効果的募集活動を展開する。また、地域に根差し地域に開かれ信頼される学校づくりを行う。

1) 戦略的広報活動の推進

①キャンパスツアーの開催

本校への興味・関心を高めるため、中学生・保護者・中学校・塾等を対象としたキャンパスツアーの企画、ならびにリーフレット・ポスターの作成を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：キャンパスツアーの参加者数 2,300人

②中学校・塾への広報活動の充実

本校への興味・関心を高めるため、中学校・塾主催の学校説明会、出前授業、ならびにPTAの高校訪問について広報活動を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：〈中学校主催〉学校説明会への参加校数 50校

〈中学校主催〉出前授業への講座数 12回

〈塾 主 催〉学校説明会・出前授業への参加校数 12校

〈P T A〉高校訪問参加者数 250人

③戦略的募集計画の立案に資する調査・分析の実施

志願者および入学者の増加を図るため、キャンパスツアー・PTA・中学生の学校訪問・塾対象学校説明会等におけるアンケート調査結果分析、ならびに中学校や塾における学校説明会・出前授業の外部情報のデータ分析を実施し、平成28年度入試に向けて効果的な募集計画を立案する。

2) 地域貢献活動、ボランティア活動の推進

①パソコン公開講座の実施、インターアクトクラブを中心としたボランティア活動への参加

地域社会から信頼・評価され、開かれた学校づくりを行うため、活動計画の立案、パソコン公開講座、ならびにインターアクトクラブ(社会奉仕クラブ)を中心としたボランティア活動への参加者募集と活動を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公開講座の参加者数 60人 ボランティア活動の参加者数 200人

4. 九州女子大学附属幼稚園

九州女子大学附属幼稚園は、「健全な幼児教育を行う幼稚園を目指す」ことを使命として掲げるとともに、育成方針を、義務教育およびその後の教育の基礎を培い、心身ともに健やかな幼児を育成することとしている。この使命・育成方針を達成するため、1) 保育内容の充実、2) 大学・地域との連携、3) 幼稚園運営の強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1) 折尾幼稚園

1) 保育内容の充実

建学の精神(自律処行)に基づき、人間形成の基礎を培う保育を展開する。

①保育スキルの向上

園や教員などの「自律性」を確保し、日常的な保育活動を充実させるため、園内研修の在り方を検証し、効果的な研修計画を立案したうえで、研修会を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：園内研修の実施回数 6回

②カリキュラムの充実

「自ら～する」という自主性、主体性、自律性を育む教育が保護者に共通理解されているかの検証を行うため、保護者に対してのアンケートを実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：保護者の満足度数(5点満点) 3.5点

2) 大学・地域との連携

幼稚園の教育力向上を目指し、大学・地域との連携を図り、地域に支持される幼稚園を構築する。

①地域の福祉施設等との連携

地域住民との双方向によるイベントへの参加を通して、特色ある折尾幼稚園像の定着化を図るため、開催イベント等の調整、参加促進方法の検討、ならびに連携計画を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域との連携回数 5回

②大学・地域のイベント等への参加

大学・地域のイベントへの積極的な参加を通して、相互の信頼関係の構築を図るため、イベント等の実態調査、年間スケジュールの調整、担当者間の話し合い、ならびに計画的なイベント等への参加を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：イベント等への参加回数 5回

③大学教員との連携

大学教員との連携に基づく講習会等を通して、教員の質の向上を図るため、保育現場での課題把握、大学教員のリサーチ、担当者間の協議、ならびに連携計画の企画を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：大学教員との連携回数 5回

④学生との連携

学生のイベント等への参加を促進し、学生との共働を通して、幼児教育の在り方について共通理解を深めるため、現状把握、ニーズ確認、年間スケジュールの調整、ならびに連携計画の企画を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学生との連携回数 6回

3) 幼稚園運営の強化

信頼される園を構築するため、園児の安定確保策を立案し、組織の活性化を図る。

①未就園児教室の充実

未就園児の入園に繋げるため、昨年度プログラムの見直し、参加促進方法の検討、参加者が触れ合い共感できる仕組み作り、ならびに新企画の検討を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：未就園児教室参加者数(延べ) 670人

②ホームページ等による広報活動の推進

本園の認知度を高めるため、ホームページ等の見直し、ニーズの把握、他園ホームページ等による情報収集、広報媒体の検討、ならびにホームページアクセス件数増加に向けた新企画の検討を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページアクセス件数 9,800件

③幼小連携プログラムの策定

幼小連携を強化し、本園の存在をアピールするため、昨年度プログラムの見直し、実態調査、幼小連携プログラム策定に向けた検討、ならびに幼小連絡会等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：幼小連絡会実施回数 4回

(2) 自由ヶ丘幼稚園

1) 保育内容の充実

建学の精神(自律処行)に基づき、人間形成の基礎を培う保育を展開する。

①保育の質の向上

計画的な研修を実施するため、PDCAサイクルの確立、全体研修会、ならびに計画的研修(個人研修)の推進を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：研修会への参加回数 56回

②思いやりの心の育ち

絵本の読み聞かせを通して、豊かな感性を養うため、読書カリキュラムの作成、定期的な読み聞かせ、ならびに各学年のお勧め図書の選定・購入を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：読み聞かせ(1クラス)冊数 100冊

2) 大学・地域との連携

幼稚園の教育力向上を目指し、大学・地域との連携を図り、地域に支持される幼稚園を構築する。

①地域との交流促進

地域に信頼され、支持される園づくりのため、計画の立案、田植え、稲刈り、ならびに餅つきを実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域との交流回数 2回

②大学教員との連携による保育の質の向上

保育の質の向上を図るため、設置大学と連携し、体操教室の実施を通して体を動かすことが大好きな子どもを育てるとともに英語教室の実施を通して異文化に親しむことを目的に、体操教室、リトミック教室、英語教室、就学前プログラム検討、ならびに幼小連携研修を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：体操教室、英語教室の実施回数 100回

3) 幼稚園運営の強化

信頼される園を構築するため、園児の安定確保策を立案し、組織の活性化を図る。

①未就園児教室の充実

未就園児の入園に繋げるため、昨年度プログラムの見直し、参加促進方法についての検討、ならびに参加者が触れ合える仕組みなど新企画の検討を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：未就園児教室の参加者数(延べ) 900人

②保護者に信頼される園づくり

保護者に対し、園の方針等のタイムリーな情報発信に努め、保護者の満足度を高めるため、ホームページの更新・意見聴取、ならびに次年度の更新内容の検討を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：保護者の満足度 80%

(3) 鞍手幼稚園

1) 保育内容の充実

建学の精神(自律処行)に基づき、人間形成の基礎を培う保育を展開する。

①保育力を高める理論と実践の研究

園全体の保育スキルを向上し、日々の保育に還元するため、計画的な研修、ならびに保育成果の分析・改善を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：研修の参加回数 15回

②体験型保育の充実

園の教育方針である「命の大切さ、優しい心」、「素直に感動し、豊かな心」を育み、小学校以降の教育基盤を作るため、計画的な体験型保育、ならびに保育成果の分析・改善を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：体験型保育の実施回数 30回

2) 大学・地域との連携

幼稚園の教育力向上を目指し、大学・地域との連携を図り、地域に支持される幼稚園を構築する。

①地域との連携・交流

異年齢交流や美術展への参加を通して、仲間意識や優しさを育むため、計画的な保育の開催、ならびに交流成果の分析・改善を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域と連携・交流会回数 10回

②大学教員・学生と幼稚園とのコラボレーション

附属幼稚園の特性を生かし、設置大学との交流を通して、保育内容を強化するため、計画的な連携、ならびに成果分析・改善を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：大学教員・学生と幼稚園との連携回数 12回

3) 幼稚園運営の強化

信頼される園を構築するため、園児の安定確保策を立案し、組織の活性化を図る。

①未就園児教室の充実

未就園児の入園に繋げるため、計画的な未就園児教室の開催、ならびに成果分析・改善を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：未就園児教室の参加者数 720人

②広報活動の充実

本園の保育内容をアピールするため、行事保育や日々の子どもの様子を保護者に発信するとともに、本園に興味を持つ方々への情報発信として、ホームページとfacebookの更新、ならびに成果分析・改善を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページアクセス件数 37,000件
facebookアクセス件数 72,000件

5. 管理運営

(1) 組織改革

①意思決定システムの改善

法人事務局および設置校における専決事項を見直し、決裁手続きの簡素化と事務の効率化を図るため、現状分析・課題抽出のうえ、決裁権の委譲、専決事項の具体化について検討する。

②事務組織の統廃合

効率化とサービス機能の充実を両立させた事務組織を構築するため、管理部門の部分再編、ならびに直接部門再編の検討等を実施する。

(2) 人員体制

①適正な教員体制の構築

設置基準等を基本とする必要最小限の教員体制を構築するため、教員1人当たりの学生数および専任教員比率等を考慮し、適切な教員配置について検討する。

②生産性の高い事務職員体制

少数精鋭な人員体制にスリム化するとともに適正な年齢構成を再構築するため、臨時職員・パート職員の業務見直し、新卒者の定期採用、ならびに定期的な人事異動による人材育成や人事の活性化について検討する。

(3) 制度改革

①人事総合制度の構築と定着化

導入済み制度(自己申告制度・研修制度)の整備・再構築、ならびに平成26年度から導入した制度(等級資格制度・昇任昇格制度・管理職登用制度)の運用・部分的な見直しを実施する。

(4) 省エネおよび節電対策の推進

① エネルギー使用量1%削減の継続（対前年エネルギー使用量比）

光熱水費使用量の点検・報告、省エネパトロール、ならびに遮熱シートの貼付を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：前年度比1%エネルギー消費の低減 前年比-1%

(5) IRデータによる改善・改革の支援

① IRデータの調査・分析による改善・改革の支援

大学内外の様々な情報(データ)を収集・分析し、組織的な管理を行うとともに、客観的なデータに基づく評価を、教育、研究、学生支援、経営等に活用し、大学教育の質保証を図るため、IR委員会の定期開催、ならびにデータの分析結果に基づいた、問題点・課題点の改善・改革について検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：データの分析結果に基づく問題点・課題点の抽出 2件

(6) 教育研究環境の整備

① 九州女子大学・九州女子短期大学新棟の建設

九州女子大学・九州女子短期大学本館は、建設から56年が経過し、経年劣化による老朽化および耐震問題等、建替えの必要性があるため、平成28年1月の竣工を目指し、新棟建設工事の管理業務を実施する。

② 学園設置大学の耐震補強工事

耐震診断結果に基づく耐震補強を行うため、九州女子大学・九州女子短期大学思静館の耐震補強工事の管理業務を実施する。また、同工事に係る融資、補助金申請を併せて行う。

③ 学園校舎等の施設維持工事

施設維持の観点から、優先度の高い老朽化施設の改修を行うため、九州女子大学・九州女子短期大学耕雲館屋根改修工事等を実施する。